は 会社 京都スペーサー

http://www.kyospe.co.jp/

本	社	〒590-0157	大阪府堺市南区高尾1-527-1 TEL.(072) 274-5556 FAX.(072) 349-8886
札幌営業	所	〒002-8081	北海道札幌市北区百合が原7-1-30 TEL.(011)776-3111 FAX.(011)776-3112 E-mail: sapporo@kyospe.co.jp
仙台営業	所	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町4-6-15 TEL. (022) 782-3211 FAX. (022) 782-3215 E-mail:sendai@kyospe.co.jp
埼玉営業	所	₹338-0002	埼玉県さいたま市中央区下落合1013-1 スピカビル2階 TEL.(048)606-3368 FAX.(048)826-6730 E-mail:saitama@kyospe.co.jp
千葉北営業	纟 所	〒262-0012	千葉県千葉市花見川区千種町286-1 TEL.(043)307-8261 FAX.(043)307-8262 E-mail:chibakita@kyospe.co.jp
新宿営業	所	〒160-0022	東京都新宿区新宿2-1-11 御苑スカイビル9F TEL. (03) 5362-7711 FAX. (03) 5362-7712 E-mail:shinjuku@kyospe.co.jp
横浜営業	所	₹223-0057	神奈川県横浜市港北区新羽町2041 TEL.(045)540-6211 FAX.(045)540-6212 E-mail:yokohama@kyospe.co.jp
中部営業	所	₹491-0827	愛知県一宮市三ツ井3-5-22 TEL.(0586)75-3381 FAX.(0586)75-3390 E-mail: chubu@kyospe.co.jp
北陸営業	所	〒924-0877	石川県白山市中町66 フクズミ別館2階B号室 TEL. (076) 274-0445 FAX. (076) 274-0446 E-mail:hokuriku@kyospe.co.jp
京都営業	所	〒612-0822	京都府京都市伏見区深草較ケ谷43-1 TEL. (075) 642-0820 FAX. (075) 642-0850 E-mail:kyoto@kyospe.co.jp
大阪営業	所	〒590-0157	大阪府堺市南区高尾1-527-1 TEL. (072) 274-2011 FAX. (072) 275-0087 E-mail:osaka@kyospe.co.jp
兵庫営業	所	〒673-0891	兵庫県明石市大明石町1-5-4 三井住友銀行明石ビル6階 TEL. (078) 200-6139 FAX. (078) 939-8868 E-mail:hyogo@kyospe.co.jp
四国営業	所	〒768-0014	香川県観音寺市流岡町946-1 TEL. (0875) 57-5811 FAX. (0875) 57-5815 E-mail:shikoku@kyospe.co.jp
福岡営業	所	₹812-0892	福岡県福岡市博多区東那珂3-6-62 TEL. (092) 414-2011 FAX. (092) 414-2012 E-mail: fukuoka@kyospe.co.jp
南九州営業	美所	₹899-5111	鹿児島県霧島市隼人町姫城3-241 TEL. (0995) 56-8673 FAX. (0995) 56-8672 E-mail: minamikyushu@kyospe.co.jp
新大阪事務	务所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島5-11-10 第3中島ビル2階C室 TEL. (06) 6300-7846

QRコードで製品サイトに アクセスできます。

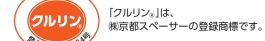


<関連会社>

株式会社 京スペハローサービス ……... 現場での各種イベント請負会社 〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾3852-7

TEL. (072) 272-4600 FAX. (072) 274-1226

大連伸宏建築材料有限公司 …… 株式会社 京都スペーサーの自社製品製造工場



2025.10 (Ver.106A.0) J.AN

高効率 鋼製型枠

基礎キーストン型枠



工期の短縮

人手不足の解消

工費の節減

基礎キーストン型枠の特長

キーストン型枠は、捨てコン・型枠解体が不要で工期を短縮できる工法です。軽量で人力施工が可能なため、専門工を減らし人件費や重機コストを削減。省人化は人手不足の解消に繋がり、 廃材や残土も抑制できるため環境にも優しく、品質も安定します。



基礎を設置するために、設計図に基づいて 地面を重機で掘り下げます。



既製杭を使用する場合、杭頭を所定の高さ に整えるために斫り作業を行います。



基礎の位置と高さを決めるため、遣り方や 杭などを基準に、地面に印を付けます。



キーストン部材を現場に搬入。軽量なため、 人力での荷下ろしや運搬も可能です。



搬入した部材を、組立場所の近くに配置するなど、設置のための準備を行います。

詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。



基礎の底盤となる部分の型枠部材を、墨出 しした位置に合わせて配置していきます。

◆ キーストン型枠施工手順

4 ~ 10 は、当社による施工

7 基礎部組立



配置した基礎部材を、専用のクリップや金物を使って連結し、組み立てていきます。

8 梁部間配り



基礎と基礎をつなぐ地中梁部分の型枠部材を配置します。

9 涇部組立



基礎部と同様に、梁部の部材を連結し、組 み立てて一体化させます。

10 キーストン型枠補強



型枠が、コンクリート打設時に変形しない ように、単管パイプなどで補強を行います。

11 土埋め戻し作業



型枠の外周を土で埋め戻すことにより、コ ンクリートの圧力を支えることができます。

12 捨てコン打設完了



鉄筋を配置した後、型枠内にコンクリート を打設。この段階で型枠工事は完了です。

長 工期の短縮

- ●捨てコンクリートが不要
- ●型枠の解体・清掃が不要
- 軽量で施工が容易

特長 2 工費の節減

- ●人件費の削減
- ●材料費・重機コストの削減
- ●残土処理費の削減

特長 3 人手不足の解消

軟弱地盤もしくは流動化処理土による埋め戻しの物件には不向きな場合があります。

- ●技能への依存度が低い
- ●省人化施工

その他:環境への配慮